



# ダツシユ

NPO法人目黒体育協会会報 発行編集/NPO法人目黒体育協会  
発行日/令和2年1月31日

## 『みんなで作ろう体育協会 生きがいと健康の輪』

### NPO 法人目黒体育協会 スローガン



#### 『新年のいあい』

NPO法人目黒体育協会

会長 藤岡 直彦



明けましておめでとうございます。新元号、令和の年を迎えて初めての正月になります。

今年の体育協会の行事は色々ありますが、まず4月1日に中央体育館がリニューアルオープン致します。それに先駆けて3月29日にはオープニングイベントが開催され、新しい中央体育館を知ってもらい、皆さまに楽しんで頂けるよう企画されています。全面バリアフリーとなった体育館で、テコンドーの試技の披露やアトラクションとしてバトンの演舞が行われる予定になっています。

また、7月23日にはオリンピックの聖火が目黒区にやって来ます。多くの観客が沿道を埋めることが予想されますが、体協として目黒シテイランの協力経験を生かし、ランナーが無事に目黒区を通過するようにサポートしなければならぬと思っています。そして、そのすぐ後には東京オリンピックが開催されます。すでにボランティアは選考され、加盟団体のメンバーでも参加される方がおられると思いますが、「体協を代表して」という気持ちで働いてくれるものと期待をしています。最後に体育協会加盟団体の皆さまの本年のご健勝をお祈り致します。



#### 『年頭のいあい』

目黒区長 青木 英二



明けましておめでとうございます。

昭和23年に結成された目黒体育協会は、平成、令和と3つの時代を駆け抜け、今年は72年目を迎えます。目黒体育協会の皆様には、目黒区体育祭をはじめ、各種スポーツ事業の実施、スポーツを通じた区民の健康づくりや青少年の健全育成、中央体育館の指定管理業務など、長年に渡り本区のスポーツ振興の中心的役割を担っていただいております。皆様方のスポーツ振興への熱意と日々のご努力に深く敬意を表し、御礼申し上げます。

さて、今年は、いよいよ東京でオリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。昨年は、この機運醸成の一環として「第4回目黒シテイラン」を11月に開催しました。

雨天にも関わらず、目黒体育協会をはじめ、約1000名もの地域の方々にボランティアとしてご協力いただき、約3000人のランナーが都心のメインストリートを駆け抜けました。

また、現在改修中の中央体育館は、オリンピック・パラリンピック競技大会の競技種目であるテコンドーの公式練習場となるほか、7月23日には目黒から聖火がスタートしますので、区としても区民の皆さんと一緒に盛り上げてまいります。

目黒体育協会の皆様にはご自身の健康にも十分にご留意いただき、今後ともご支援、ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

# よろしくお願ひいたします。



◆東京五輪、野球も目指す金メダル!!

軟式野球連盟会長 田村 嘉健

◆陸上競技の走跳投は、スポーツの基本です。

区民大会に参加し、健康と記録を目指そう。

陸上競技協会会長 高祖 勝市

◆中央体育館もリニューアルしましたので、心機一転柔道の更なる普及に努めます。

柔道連盟会長 市島 大二郎

◆迷いは、結果出せない、迷いは、楽しみを  
超え……。自然の中で自分との闘い。

釣魚連合会会長 大塚 雅信

◆スポーツにおける強い精神力、勝負の厳しさを  
をわんぱく相撲を通じて青少年に指導する。

相撲連盟理事長 石塚 友宏

◆ソフトテニス人口の増加と、ジュニア育成に  
力を入れ、次代を担う世代を育てます。

ソフトテニス連盟会長 石原 実

◆「庚子」年は、可能性のある未来に向かって  
伸びる年。剣道の普及に向けて新たに挑戦!

剣道連盟会長 塚越 美智子

◆昨年以上の内容で充実したジュニア育成

【小学生を含む】に力を注いで参ります。

卓球連盟会長 中野 恵司

◆令月風和 中央体育館 祝御新築 健康増進

不老長寿 正射正中 一射絶命

弓道連盟会長 塩川 和典

◆安全で楽しいスキーの普及振興を図り、技術  
及び体力の向上を目指します。

スキー連盟会長 大信田 雅伸

◆東京オリンピックの金メダル候補、バドミン  
トンの区民への普及に今年も取り組みます。

バドミントン協会会長 兒嶋 昇

◆昨年は有望な新人の入会もあり、今年こそは  
都民大会上位入賞を目指します。

クレール射撃連盟会長 谷川 宏治

◆東京オリンピックでは空手が初種目として  
入りました。是非、よろしくお願ひします。

空手道連盟会長 近藤 彰郎

◆目黒区の生涯教育の一環として、アーチェリ  
の普及と発展に本年も尽力します。

アーチェリー協会会長 森原 誠至

◆オリンピックイヤー! サッカーに限らず、  
すべてのスポーツを応援してまいります!!

サッカー協会会長 平岡 正太郎

◆令和の時代に、バレーボールの今一層の発展  
に全力を挙げて取り組みたい。

バレーボール連盟会長 松岡 一二三

◆新たな年と共に、新装なる施設で東京五輪と  
共に今一段の成果を期します。

ライフル射撃協会会長 安藤 銚一

◆連盟目標!! 区民皆泳! 個に応じた指導と泳力  
を十分発揮してもらえ大会を目指します。

水泳連盟会長 杉浦 重子

◆令和2年度春季大会からシニアカテゴリーを  
募集します。生涯バスケットを楽しみましょう。

バスケットボール連盟会長 森田 良治

◆半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを願  
い、調和のとれた人間関係を大切にします。

少林寺拳法協会会長 宮坂 講治

◆合気道はひたすら自分を磨く武道です。お互い  
を尊敬し磨き合う合気道を始めてみませんか。

合気道連盟会長 阿部 修



## 謹賀新年 本年も

◆ 2020 オリンピック年、連盟創立40周年記念大会を迎える。大好きな目黒での普及発展。なぎなた連盟理事長 加藤 れい子

◆ 区民の健康増進の一助としてテニスの普及、協会員相互の親睦を一層図っていきます。テニス協会会長 岸 光洋

◆ 今年はいよいよオリンピック本番優勝のみです。わが連盟も各大会良い成績をめざします。ソフトボール連盟会長 白子 君代

◆ 今年は、初心に返り「動きの基本」を大切にみんなで楽しく、音楽体操の輪を広げたい。音楽体操協会会長 湯澤 きよみ

◆ 昨年は招待試合で二度優勝を経験しました。本年は「本」舞台でも是非美酒を……。ゲートボール協会会長 小川 安弘

◆ 今年はオリンピック・イヤヤー。健康な体はトリム体操で……。トリム体操連盟会長 高橋 輝男

◆ 本年もスポーツを通じ青少年の心と体の健全育成を目的に活動致します。スポーツ少年団本部長 深井 利彦

◆ 自分たちだけでなく、子供から年配者まで多くの方が楽しめるような活動を目指します。トライアスロン連合会長 石田 尚志

◆ であい・ふれあい・わかちあいをモットーにミニバレーと共に明るく楽しみましょう。ミニバレー協会会長 杉本 幸二

◆ 健康長寿体操、百歳時代を楽しく、ラジオ体操の普及と発展に尽力します。ラジオ体操連盟会長 有野 滋

◆ 令和の春秋の大会に備えつつ、地域の皆様にはグラウンド・ゴルフ普及に貢献します。グラウンド・ゴルフ連盟会長 岸 信

◆ 目黒区スポーツ人口増加前進の為、全役員一丸となり人材の拡大を強力に推進します。ティーボール連盟会長 丸山 恭市

◆ 区民大会の更なる充実と都民大会の優勝に向けて『マルシェ・デュウ!!』(二歩前進)。フェンシング協会会長 横山 勲

◆ ワルツで優雅に、サンバで情熱的に、タンゴで力強く！令和2年を踊りぬいていきます。ダンス連盟会長 永田 純

◆ 渋野選手の全英制覇でゴルフが注目されました。オリンピックで日本人のメダルを期待します。ゴルフ連盟理事長 栗山 芳士

◆ 令和初の年頭にあたりバトン演技の優雅性、美しく添う動との調和に更なる精進を心に歩む。バトン協会会長 木村 洋子

◆ パブリックビューイングの多数の応援に感謝します。より一層の活動充実を目指します。ラグビーフットボール協会会長 岡部 定征

◆ 今年は健康寿命延伸を目的とした「スローエアロビク」の普及に力を入れていきます。エアロビク連盟会長 浅山 美樹

◆ 令和元年、初めて加盟団体になりました。区民の皆様と健康で楽しい体操を目指します。健康体操連盟会長 横田 由紀子

◆ 都内各地区教員とのスポーツゲームを実施しています。キーワードは楽しさ&安全です。小学校体育連盟会長 若林 研司

◆ 中学校におけるスポーツ・体育活動の充実、振興に努めます。中学校体育連盟会長 小沢 進



## 1964年 第18回オリンピック東京大会の思い出



遙か昔の懐かしい記憶をたどってみることにします。私の生まれた市川市の国道14号を聖火ランナーの一団が通るので学校を挙げて見に行きました。大声援の中、一団は誇らしげに白煙を残して走りすぎました。沿道の人出だけでもオリンピックってすごい！と思えました。



当時は競技会場に入るなどとは考えもしませんでしたから、晴れ晴れしい開会式、体操競技、バレーボールはテレビで見ました。けれども、「兎に角近くに行ってみたい！」という気持ちが次第に高まり、高校生だった私は現地へ向かいました。

まず一つ目はマラソン。アベベ・ビキラ選手（前回のローマ大会でアッピア旧街道を裸足で走って優勝）を見たい一心で国立競技場ゲート前の、時々



泳ぎにいていた神宮プールへと出かけました。建物の辺りが特等席と思ったのですが、周辺は既に大勢の人垣で道路もはっきりと見え

ません。「アベベが来た～、アベベが来た～」 「円谷頑張れ～」 その都度観衆がざわめき揺れます。「速～い！」風のように走り抜けゲートに消えてしまいました。私がどんなに背伸びをしても、飛び上がっても「見えた！」という実感はなかったのですが、光景の記憶は鮮明です。

二つ目は国立代々木競技場。周辺で雰囲気を感じようと数人の友人と行きました。ちょうど近くを歩いていた男性のスポーツウェアの胸には白くNIPPON。選手に違いないと思い、友人は躊躇なく「サインしてください」とノートを出すと、すぐに書いてくれました。周りに人がたくさんいたことや、サインをもらったうれしさで、何の種目かも聞けませんでした。



『日本選手にサインを』

今思えば、果たして本当に選手だったのか？謎のまま長い年月が過ぎ現在に至っていますが、捜していたその時の写真は数十年ぶりに連絡した友人宅で見つかりました。他に、外国のスタッフらしき人と並んで撮ったものや、真新しい自転車を用意された代々木選手村から、選手たちが自由に競技場まで乗ってきていた写真もありましたが、残念ながらサイン・ノートは見つからなかったそうです。

『自転車を停める外国人選手』



写真は古びてしまいましたが懐かしい思い出話に花が咲き、オリンピックのおかげで旧交を温めることもでき、お互いワクワクして競技場に出掛けた気持ちは健在でした。

新国立競技場が完成したというニュースが流れて、12月1日に私は早速千駄ヶ谷に足を運んでみました。かなりの人が見物にきていましたが、新しい競技場を仰ぎ見て、改めて55年前の期待に弾んだ胸の高ぶりが鮮やかに蘇ってきました。2020年のオリンピック東京大会は、今の私たちにどんな思い出を残してくれるのでしょうか？

目黒区なぎなた連盟 川村 泰子

※上記選手にお心当たりのある方は、恐れ入りますが体協までお知らせください。